

# CONTENTS

No.289 2024年12月号 草月指導者連盟機関誌



## 『植物の気配』

家元が植物のかたちを浮き上がらせる。  
色とりどりの空気をまとめて  
軽やかに舞う植物たちを魅せるシリーズです。

表紙作品=勅使河原茜  
表紙アートディレクション=永井裕明 (N.G.inc.)  
表紙デザイン=前田由貴 (N.G.inc.)  
印刷=東洋紙業株式会社  
制作協力=有限会社デジタルプラネッツ

32 31 25 24 21 12 10 6 4 2

カレンダー

草月×日本茜プロジェクト

インフォメーション 本部教室／草月WEST

レビュー 第9回日本いけばな芸術信越展／新国立劇場ウェルカムフラワー

百花万葉

支部活動報告 千葉県支部展／岩手県支部展／高知県支部展／広島県支部展  
愛媛県支部展／新潟県支部展／東京西支部展／沖縄県支部展／京都支部展

「立体造形」とは？⑤素材

勅使河原茜の花

第105回草月いけばな展「遊べ、もっど！」

だから、おしゃべりはやめられない 第97回「心をひとつに」



勅使河原茜が新年をいける！

臨場感ある「初いけデモンストレーション」を生配信。

配信だからこそ楽しめる世界へ、ぜひ一緒に。

# 2025 1/12 sun 生配信

茜家元と迎える新年の会 2025



# 早

いもので、2024年ももうすぐ終わりです。よく年齢を重ねるにつれて時間が過ぎるのが早く感じられるようになっていきますが、まさにその通り。このペースだと多分あつという間に創流100周年もやってくるのだらうなという気がしています。いよいよ全員が一丸となって、来るべき2027年に向けて本格的に動き出す時がやってきました。この「全員」には、会員の皆さんはもちろんのこと、草月本、

だから、おしゃべりはやめられない 97  
勅使河原茜

## 心をひとつに

とありました。そのため、年頭の挨拶など折に触れ、「いけばなを習ってほしい」と呼びかけてきたのですが、それぞれ事情もあるでしょう。実際に始めるスタッフは、残念ながら多いとは言えない状況が続いていました。そこで2021年より、思いついて職員・社員に向けたいけばな稽古を始めました。会社の研修として、月に一度レッスン日进行を設け、午前か午後に参加できるというスタイルに。これなら仕事が忙しくても、無理、

げに美しくいけられたそれら一つひとつの作品の裏に、いけ手のどれだけの研鑽と努力の積み重ねがあるのかを理解するところでしょう。他人が花をいけているところを何百回見たところで、それはわかりません。自分でいけてこそ、初めて得られるものではないかと思えます。

さらに、「草月人」として100周年を迎えてほしいという気持ちから、草月職員・社員による、いけばな展を企画しました。会員の皆さんは何年も前から100周年を意識してくださっていますが、草月で働いている全ての職員・社員が、創流祭などの行事経験があるわけではありません。スタッフ間の温度差も、きつと少なからずあることでしょう。稽古で花をいけると、展覧会で多くの人の目に触れる花をいけるとでは、緊張感がまるで違います。花展に出品する皆さんの気持ちを知り、一緒に仕事をしている仲間たちと関わりながら心をひとつにしていく。そんな過程を経ることで、全員が本当の「草月人」として100周年を迎えることができるのではないかと考えたのです。そのため、出品に向けての流れも、応募説明会、申込用紙提出、デッサン提出、花席決定と、ほぼ草月いけばな展と同じにしました。企画を発表したのは今年の4月。「上手い下手は関係ありません」と念押しはしましたが、スタッフたちは戦々恐々。月に一度のレッスンへの取り組みも、これまで以上に真剣味を増したようです。

この展覧会は、草月創流100周年のキックオフイベントでもあります。会場は草月会館1階にある石庭「天国」と、京

部の職員・社員も含まれます。先代の宏の時代などは、草月で働く人の大半が当たり前のように師範を取得しているという状態でしたが、今はそうではありません。師範はおろか、「一度も花をいけたことがない」というスタッフも珍しくありません。ただ、せっかくな縁あつて草月に入社してきたのです。いけばなを学ぶことがより良い仕事に直結するのは間違いありませんし、自ら花をいけ、何かを感じてほしいという思いがずつ

なく続けられると思ったのです。そしていざ始めてみると、全員が実にいきいきと、楽しそうにレッスンを受けているではありませんか。その姿を見て、心から安堵しました。

草月の職員・社員は、世間一般人の人と比べて、いけばなを見る機会は格段に多いことでしょう。レッスンを受けることで、花をいけるのがいかに大変で、いかに難しく、いかに面白いのかということを感じてほしかったのです。さらに、こともな



草月創流 100 周年のキックオフイベントは、20 セクションの職員・社員が初めて行う花展です。もちろん私も参加します！草月ならではの「エンジョイする精神」で創り上げる展覧会にご期待ください。

### ●草月職員・社員による、いけばな展

- 【草月プラザ(東京)】 2025年2月27日(木)・28日(金) 10:30～20:00(28日は16:00まで)
- 【草月WEST(京都)】 2025年2月28日(金)・3月1日(土) 10:00～20:30(3月1日は16:30まで)
- 【草月陶房(福井)】 2025年2月27日(木)・28日(金) 10:00～16:00

都の草月WEST、福井の草月陶房です。ふだん何かと皆さんと関わる機会のある職員・社員たちが、果たしてどんな花をいけるのか。どうぞ温かい目でご覧いただけますと幸いです。



1 8階ホールに展示された家元による大作。勅使河原宏作の花器に、孟宗竹、龍舌蘭、アロエ、チリマツ、からたち、ネオレゲリア、つるうめもどき、ピラカンサ、いいざりがいけられた。孟宗竹はあえて磨きをかけずに、自然の荒々しい表情をいかした。2 1階正面ステージの家元作品は、竹を用いた宏へのオマージュ作品。展覧会に先行して10月16日から展示され、10月22日までは竹のみの造形、展覧会開始の23日からは中央に宏の器を配し、桐や椿がいけられた。3 10月26日には高円宮妃久子殿下に展覧会をご高覧いただいた。4 特別エリア「勅使河原宏の花器にいける」。5 会場風景。遊びの精神に呼応する生き生きとした作品が並ぶ。

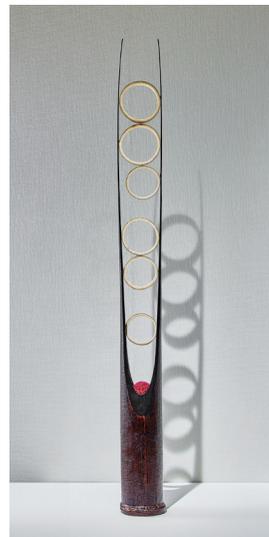


## 新人賞作品



櫻井香遙 (前期)

枯れあじさいとシサル麻をラップフィルムで巻き、塊にした作品。密閉性のある素材で花材を閉じ込めているが息苦しさがなく、ユーモアのある形が生まれている。



内村苑志 (後期)

竹とけいとうをいけた作品。研ぎ澄まされたシャープな竹の花器と、転がるような輪切りの竹、対照的な表情をシンプルかつ印象的に見せている。



## 第105回草月いけばな展 「遊べ、もっと！」

2024年10月23日～28日 / 日本橋高島屋S.C.

もっと自由に、もっと豊かに

草月流最大の展覧会、第105回草月いけばな展が日本橋高島屋S.C.にて開催され、前期・後期合わせて520名が出品した。

今回の草月展は、生涯にわたり「もっと自由に、もっと豊かに」と自らと周囲を鼓舞し続けた第三世家元・宏の精神が基軸になった。

開催にあたって、茜家元は次のように語っている。「創造の源泉は遊びの精神である」と先世家元・勅使河原宏が語ったように、私たちは「遊ぶ」ことによって、常識の束縛を逃れ、心を解放し、豊かな創造へと繋がる新たな視点を獲得することができるのではないだろうか。

今回は特別エリア「勅使河原宏の花器にいける」が設けられ、「遊」のエネルギーに満ちた花器と、それに呼応するようにいけられた花が展示された。この他にも会場には宏の精神と響き合う生き生きとした個性豊かな作品が並び、6日間で約2万人の来場者を魅了。100周年への飛躍を感じさせる展覧会となった。

【展覧会図録が復活します！】  
第105回草月いけばな展の全作品を収録した図録が来年3月に発売予定です。  
どうぞお楽しみに。  
【草月出版】フリーダイヤル:0120-087-202  
E-mail: shuppan@sogetsu.or.jp

# 勅使河原茜の花

Original Works by Akane Teshigahara



じゃのめ松（蛇の目松）は、斑の色が蛇を連想させることが名前の由来とされています。正面に「目」を点在させ、じゃのめ松独特の風情を強調しました。

素材：じゃのめ松、苔松、ゆり、水引 花器：陶器花器（安原喜孝） サイズ：113×110×108cm



すべての花材を、量感たっぷりにいけました。たわわに実ったきんかん、ゆずに、一年の豊穡への願いを込めて。

花材：きんかん、ゆず、根引松、千両 花器：陶器花器 サイズ：104×94×77cm



さんきらいは線の動きも魅力的ですが、あえて束状にして使うことで、あらたな表情を引き出しました。  
クリスマスを象徴するポインセチアもボリュームたっぷりにいけ、互いを対比させました。

花材:ポインセチア、さんきらい 花器:ガラス花器(岩田久利) サイズ:53×79×53cm

# 「立体造形」 とは？⑤

「いけばなは立体造形である」。この理念を構成する要素のひとつである「素材」について考えてみましょう。

いけばなで主に用いる素材は植物です。植物はそれ自体の表情が豊かであるため、よほどしっかりと構成力を持っていないと、素材のおしゃべりに負けてしまつて騒がしいだけのものになってしまいます。私たちはそれほど強い素材を相手にしているのです。

また素材を完全に自分のものにするためには、一度だけではなく、徹底して使ってみることで初めて思うような作品を創りだすことができます。草月の代名詞といえる「竹」を例にしましょう。竹は第二家元・宏によって見出された素材で、インスタレーションや舞台空間、茶室などに用いられ、素材としての可能性を広げてきました。竹について宏は次のように述べています。「私は竹という素材のさまざまな属性に注目し、その属性にしたがって分解したり構成したりする。そのとき、竹は明らかに自然のものではなく私のものになっている。しかし竹はいくら切り刻んでも、竹の属性を失うことはない。私は金属の線を用いて、無から有を生もうとしているわけではないのだ。それはあくまでも竹である。竹の描く曲線であり竹の作る直線なのだ。実に豊かな表情をもっている。それは私が介在できない領域にあるものであり、私がいかなる力をもつても作ることができない特質なのだ。そういう素材と向き合い、関わり合いながら造形していくという行為そのものに、私は形容しがたい奥行き深いものを実感している。」

2024年度のサブテーマ「いけばなは立体造形である」。立体造形の理念を構成する7つの要素

「空間性」「行為」「現代性・創造性」「自然観」「素材」「古典」「形」を紐解いていきます。今号では「素材」を、次号290号は「古典」をご紹介します。

## 素材

植物素材を中心とした、自由で多彩なひろがり。  
植物のもっている、融通無碍なる多様性をひき出し、生かします。

勅使河原宏による初期の竹作品（1982～1983年）。  
左は、宏による初めての竹作品「竹人」（1982年／資生堂アートハウス）。割った竹を割いたほうを下にして立たせ、大勢の人が芝生に集まったようなユーモラスなイメージから制作された。これを皮切りに、竹による造形が次々と展開される。宏が竹に注目したのは家元になる前。福井の豪雪のなかで竹が180度のアーチをつくり、雪の重みに耐えている弾力性に驚いてから、その素材に注目し始めた。



### 季刊『草月』冬号にて「いけばなは立体造形である」を特集！

「いけばなは立体造形である」を大特集。「現代空間といけばな」、「あらゆる角度からの視線を考える」、「素材を線と色でとらえる」など、具体的な作例とともに紐解いていきます。12月1日発売。[草月出版] フリーダイヤル：0120-087-202 / E-mail：shuppan@sogetsu.or.jp

### 私の教室の「いけばなは立体造形である」

草月いけばな展の期間中、来日した海外会員を対象に「いけばなは立体造形である」をテーマにしたスペシャルワークショップが行われました。

① 10月24日（講師：福島光加）

宏家元が晩年に提唱した「連花」を参加者全員で行いました。前にいけられた作品の表現を注意深く観察しながら自分の作品へリンクさせて、所定の時間内にいけます。作品を観察する眼を養い、自分の想いを意識し表現することがねらいです。

② 10月27日（講師：中田和子）

「造形」とはどのようなことか。立体造形の要素「形」「空間性」についての講義と、「場にいける」を行いました。教室の長机をジグザグに配置するなど、いつもとは違うレイアウトの教室と日本間で、空間といけばなの関係を探ります。「いける場所は机だけではない。空間を感じるにはどうしたことなのか、面白い経験だった」「日本間でいけられる機会をありがとう」など感想が寄せられました。



上は福島師範、下は中田師範によるワークショップ。両日約20名の熱心な参加者が集った。

### 私の教室の「いけばなは立体造形である」募集中！

[E-mail] info@sogetsu.or.jp [郵便] 〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21 出版部 編集制作室

千葉県支部展



千葉県支部のInstagram

翔—花とともに—

9月20日～25日  
ホテルニューオータニ幕張

「場にいける」を实践

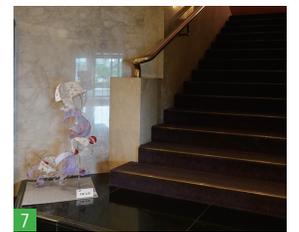
かねてよりフラワークを行っているホテルニューオータニ幕張にて、家元出品のもと千葉県支部展が開催中された。前回の支部展はコロナ禍だったこともあり、利便性を考慮して百貨店で開催したが、今回はホテルのパブリックスペースを利用し、草月の場にいける」を实践した。

ホテルという場所柄、いけこみ時はお客様の妨げにならないよう十分に配慮。時間差で制作を行ったり、場所によって出入り口を分けたりすることによって、スムーズに進行させることができた。

来場者からは、ロビーの高い天井まで舞い上がるかのような家元作品の迫力や、ホテル各所に散りばめられた会員作品の華やかさを楽しんだとの反響が聞かれた。初出品、中堅や若い会員の出品もあり、今後につながる支部展となった。



1 家元作品。  
花材：竹、柿、豆柿、ざくろ、ピプルナム・コンバクター、うめもどき、あせび。花器：陶器花器（加藤清之作）  
2 支部合作。  
3 野村浩秋支部長の作品。  
4 5 6 7 8 9 ホテルの各所に、「場にいける」を意識した、様々な作品が展示された。



岩手県支部展



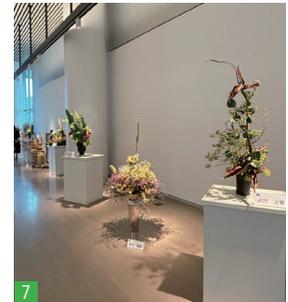
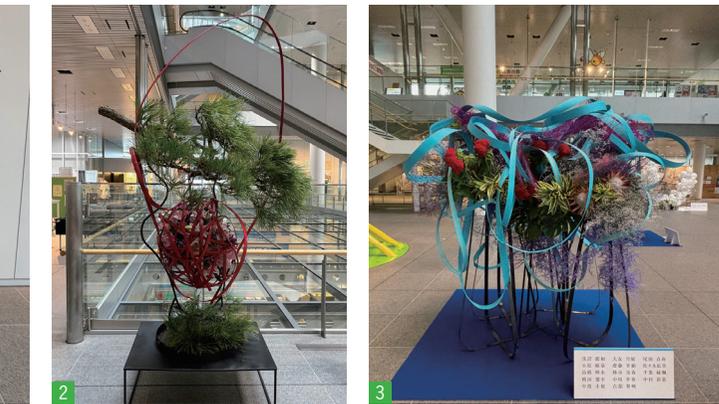
岩手県支部のInstagram

Let's enjoy いけばな!!

サブテーマを意識して

多くの来場者が期待できる、アイーナいわて県民情報交流センターにて、岩手県支部展が開催された。草月流創流100周年に向けて支部が団結。コロナ禍で内側にももっていた熱量を「花」に込めながら、エネルギー溢れ、気運が盛り上がる展示会を目指した。

100周年に向けたサブテーマである「緑色塊」「いけばなは立体造形である」を意識し、いける側も見る側も「いけばなを楽しむ」ことができるよう、テーマは「Let's enjoy いけばな!!」とした。4階では「色」をテーマにしたグループ作、5階では個人作を展示してメリハリをつけ、わくわくするような会場構成に。その時、その空間にしかない美しさを楽しみ、表現することで、会場にいる全員に、いけばなのパワーを感じさせる展示会となった。



1 四役滋陽支部長の作品。  
2 猿子滋苑さんの作品。  
3 4 5 8 色をテーマにした合作が複数いけられた。  
6 7 会場風景。

高知県支部展



＜高知県支部のInstagram＞

チャレンジ!! ～未来へ～

9月21日～23日  
高知市文化プラザかるぼーと  
第3展示室

- 1 2 支部合作。
- 3 筒井美香支部長の作品。
- 4 井上佐芳さんの作品。
- 5 6 会場風景。
- 7 小学生、中学生の出品も。



県産の花材を使って

地元の人にもっとも馴染みがあり、さまざまな市民文化を創造し、発信する拠点施設高知市文化プラザかるぼーとにて、高知県支部展が開催された。

会場は天井が高く、広々とした空間が広がり、さまざまな作品の展示が可能。会場の広さの都合から今回は展示できなかった支部合作も2点出品した。合作は7月に開催した本部主催支部研究会のテーマ「竹と経木を使って」での学びをいかしつつ、グロリオサをはじめとする高知県産の花材を取り入れた作品を制作した。

会場を彩る支部の合作や個人の作品、ともに「現状を超え、それぞれの未来へチャレンジしよう」という思いを込めた本展は、まさにタイトルの「チャレンジ!! ～未来へ～」を体現するものとなった。

広島県支部展



＜広島県支部のInstagram＞

What's SOGETSU?

10月4日・5日（福山会場：広島県民文化センターふくやま）  
10月12日・13日（広島会場：広島県民文化センター）

2つの会場で開催

5年ぶりとなる広島県支部展。今回は慣れ親しんだ百貨店から公共施設へと変更し、会場を2つに分けるという新たな試みを導入。東部の福山市と、西部の広島市の2会場で開催された。

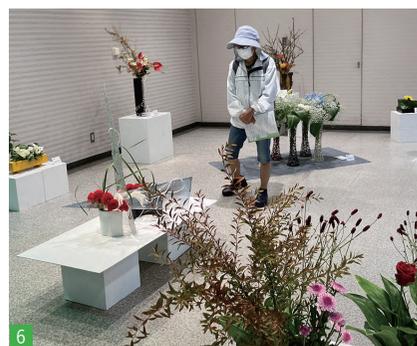
テーマ「What's SOGETSU?」創流100周年に向け、出品者それぞれが草月とは何なのか?を改めて考え、問い直し、その答えや思いを表現する場とした。

福山会場では、有志によるデモンストレーション「LIVE」花と語りつついける」を披露。来場者に作品ができあがるまでの臨場感をお楽しみいただいた。広島会場では、「こどもいけばなコーナー」を設け、多様な世代の方にいけばなの面白さをアピール。個人作、合作、小品から大作まで、様々な作品が両会場を彩った。

- 【広島会場】
- 1 高橋陽春支部長の作品。
- 2 高橋篁赫さんの作品。
- 3 4 会場風景。



- 【福山会場】
- 5 山上晶絵さんの作品。
- 6 7 8 9 会場風景。

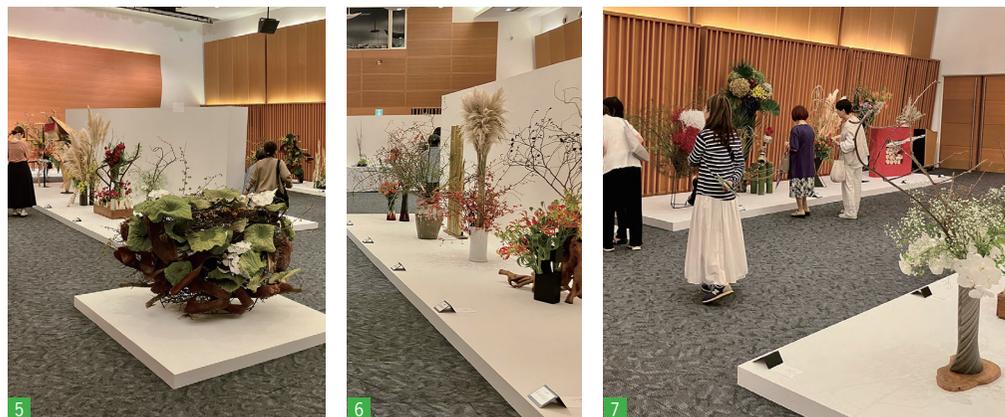
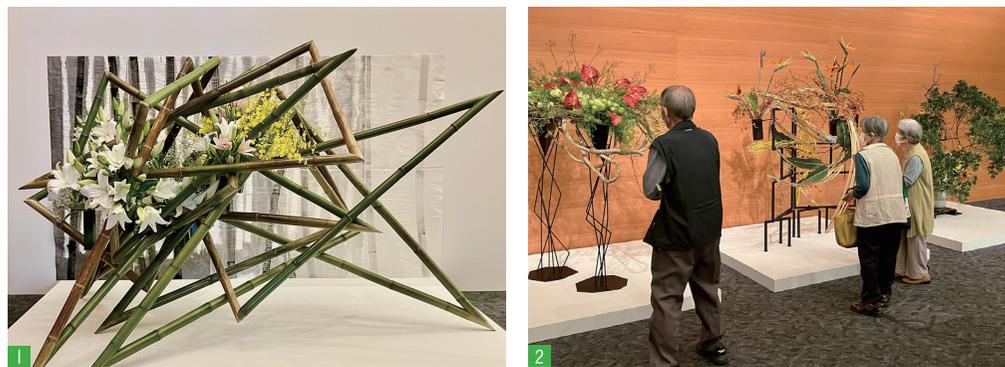


愛媛県支部展



＜愛媛県支部のInstagram＞

百人一花



1 玉井汀州支部長の作品。2 3 4 5 6 7 会場風景。

個人作にこだわる

北海道物産展などのイベントで賑わいを見せる、いよつ高島屋にて、愛媛県支部展が開催された。

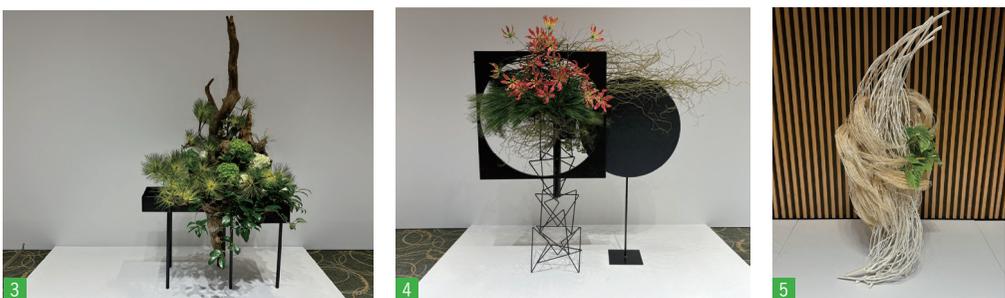
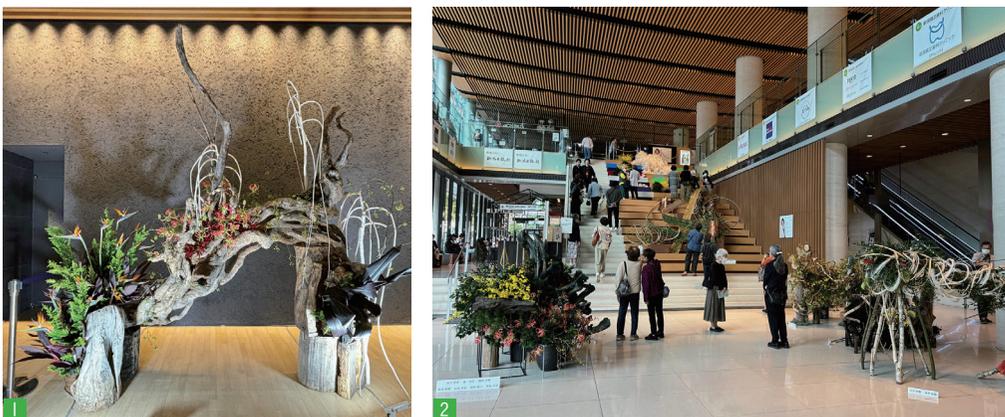
今回のテーマは「百人一花」。各々が自分の花に向き合って表現しようという思いを込めた。そのため、ここ数回の支部展では合作をメインとした屋外展示だったが、今回は完全に屋内のみとし、合作ではなく個人作の展示にこだわった。また、小品のスペースを多く設けることで、キャリアの浅い会員の出品を促した。

一人ひとりの個性豊かな作品に彩られた会場では、創造性の高い作品から、素敵な暮らしのワンシーンを想像できるような作品まで様々な作品が並び、来場者はお気に入りの作品との出会いを楽しんだ。会期中は晴天にも恵まれ、2000名近くの来場者で盛況となった。

10月11日～13日  
いよつ高島屋 9階ローズホール

新潟県支部展

What's SOGETSU? ～未来に伝える花～



1 小林秀紅支部長の作品。2 会場風景。3 金子青楓県委員の作品。  
4 小林雨虹県委員の作品。5 諸橋紅筋副支部長の作品。6 安達篤湖さん、石川菱桜さん、金子青沙さん、川合廣汀さん、熊澤青峰さん、林青佳副支部長、伏見青泉さんらによる合作。7 浅野喜一さん、須佐江昭さん、境澤江春さん、鶴巻江恵副支部長、富田青沙さん、山口青葉さん、吉田春穂さんらによる合作。8 栗林麗穂さん、小林蕉子さん、鈴木麗雯さん、高野靖慈さん、寺本香蕉さん、松尾蛭柯さんらによる合作。

会場構成に工夫を

10月13日・14日  
新潟日報メディアシップ

新潟駅からほど近く、オフィス、商業施設、カルチャーセンターなど様々な文化施設が入る新潟日報メディアシップにて、新潟県支部展が開催された。

創流100周年を3年後に控え、自由で創造性豊かな草月流の魅力を伝えられるような支部展を目指した。特に力を入れたのは会場構成。2階展示ホールには、草月流をアピールする大型作品のほか、中作や小品、壁作品などバリエーションに富んだ作品を展開した。入口である1階のみならず広場や、2階へと続く大階段には、広い空間を生かした自由でインパクトのある創造的な作品を配し、花に誘われて2階ホールへと進んでいくような構成とした。

広場と大階段は一般の方も通行するため、制作過程のパフォーマンスを含めて、お楽しみいただいた。

東京西支部展



＜東京西支部のInstagram＞

第28回「よみがえる樹々のいのち」展  
いとをかしこれぞ立体造形！人と樹々とのセッション・エコアート

10月15日～12月1日  
国営昭和記念公園

樹々たちを造形作品へ

恒例の「よみがえる樹々のいのち」展が国営昭和記念公園で開催された。公園内で剪定された樹々や竹、台風などによる倒木を素材とし、チップとして土に還される前に、もう一度造形作品としてよみがえらせたいという思いのもと、園内に数々のインスタレーションを展示した。今回で28回目となるが、毎回参加グループが様々なアイデアを出し合い、進化しながら続いている。

さらに今回は、来場者を対象に、「草月 Workshop Project II」と題し、主に子どもたちが公園の雑木から好きな形を作り、それを土台につけて一つのオブジェを創作していくというワークショップを開催。こちらも恒例となっている「秋の散歩道でのライトアップも行われ、幻想的な夜の作品もあわせてご堪能いただいた。



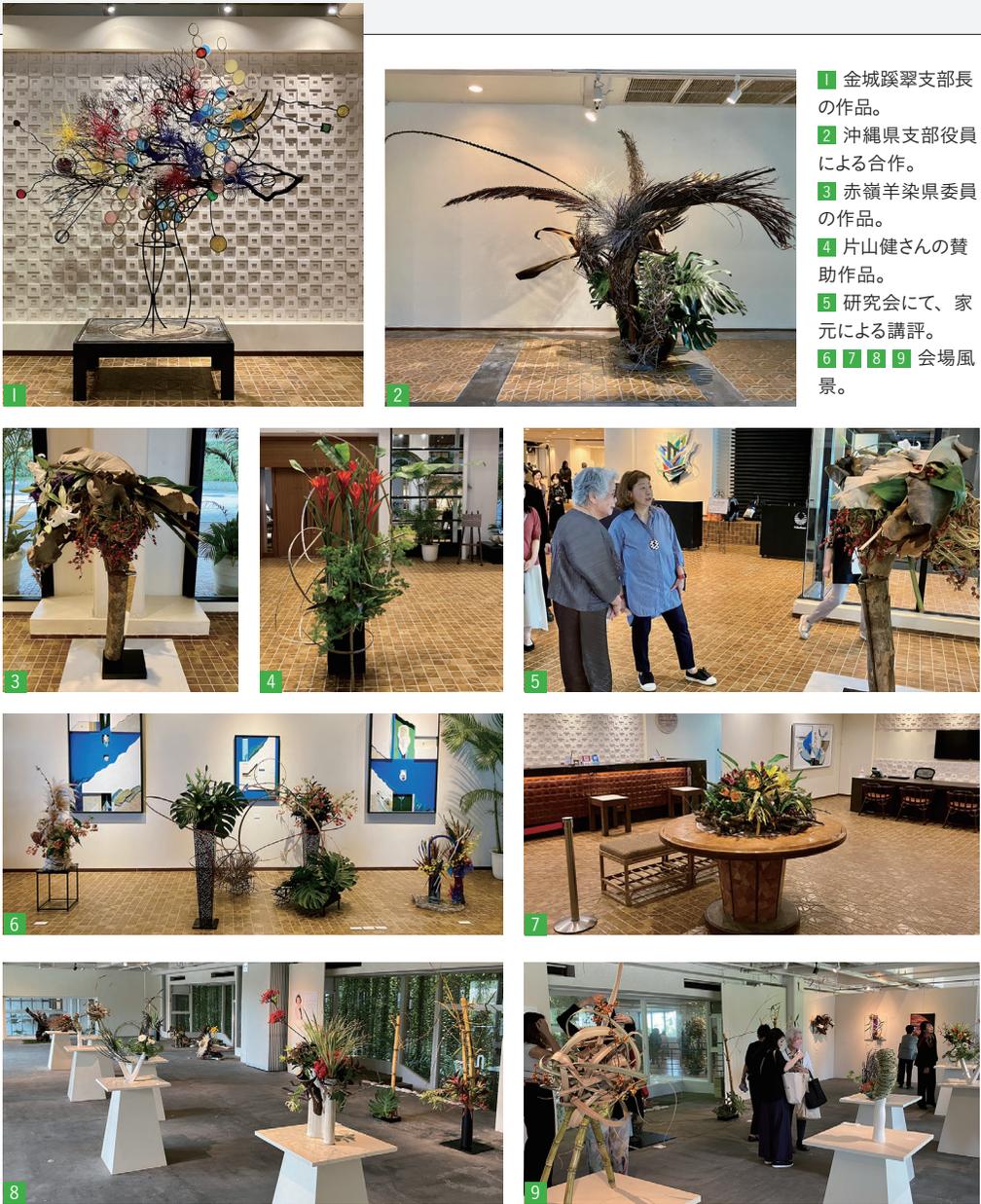
1 大久保グループ「台風15号唯今接近中」。2 高木グループ「風、空、光とーベンチPARTXXII」。3 樋口翠翔グループ「骨シリーズ Part V Dragon」。4 グループ樹音「moving on II」。5 グループ泉 - SEN - 「frame」。6 SYC 東京 I 「森のおうち」。7 NEXT - 7 「ピラミッド」8 チーム Wow ! 「WOW !」。9 TEAM GOTO 「愛の泉 あふれでて...」。10 SOU SOU 「Go, Go, スイング!」。11 グループ Forever 「かざぐるま」。12 ワークショップの作品。

沖縄県支部展



＜沖縄県支部のInstagram＞

リゾートにいける！光・風・音を感じて！



1 金城蹊翠支部長の作品。  
2 沖縄県支部役員による合作。  
3 赤嶺羊染県委員の作品。  
4 片山健さんの賛助作品。  
5 研究会にて、家元による講習。  
6 7 8 9 会場風景。

リゾートで「場にいける」

沖縄本島中央部の西海岸に位置する恩納村にある、県内屈指のリゾートホテル、ザ・ムーンビーチミュージアムリゾートにて、沖縄県支部展が開催された。

支部会員のこれまでにいけたことのない場所で行ってみたという思いから、この場を選定。リゾートで「場にいける」を実践することで、これまでにない発想や展開が生まれることを期待しての開催となった。

ホテルのコンセプトに寄り添い、館内を吹き抜ける「風」、窓から差し込む「光」、美しい白浜に打ち寄せる「波の音」、リゾートを楽しむ人々の「歓声」を作品へと昇華させた。

初日には家元を招いての研究会も開催され、苗家元が各作品を直接指導。よりブラッシュアップされた自信作がホテルの各所を彩った。

港区秋の華道展

2023年10月1日  
愛知(名古屋市)／港区役所講堂  
犬飼文柚社中10名



社中より10点を出品。小学生の出品者が大人顔負けの技術で自分の作品の説明するのが恒例で、今回も好評だった。

尾山神社御鎮座150年式年大祭奉納花展

2023年10月1日～4日  
石川(金沢市)／尾山神社  
石川県支部



県文化創造普及事業により他分野で活躍する方を講師に招き、竹作品を制作。尾山神社御鎮座150年を祝して奉納

全日本いけばなコンクール 西日本地区

2023年9月17日～20日  
福岡／榎田神社 恵比須会館  
草月8名 写真作品:山口松苑(左)・山口岳峰(右)



帝国華道院九州連合会主催による諸流派合同の華展会場の神社は海外旅行者も多く、若い人たちが足を止めていた。

ホテルハマツロビー迎え花「緋色円舞」

2023年9月27日～12月下旬  
福島(郡山市)／ホテルハマツロビー  
菅野草苑 他4名



赤をテーマに制作。「光に映える色」と、竹籠を分解した面に茜色のペンキを塗り重ね、目立つようにした。

野見山暁治さんお別れ会

2023年7月22日  
ホテルオークラ福岡  
片山健



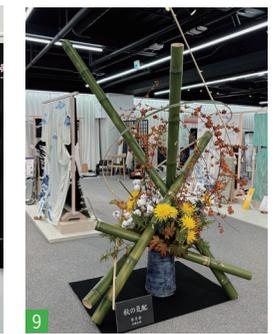
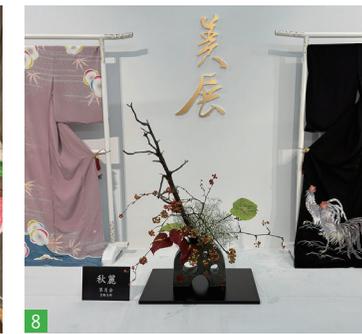
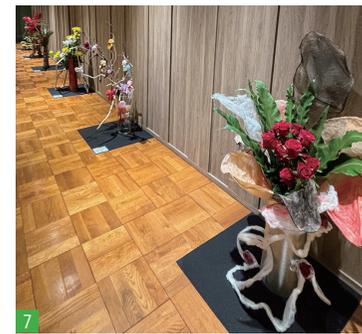
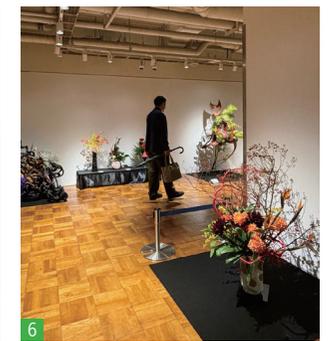
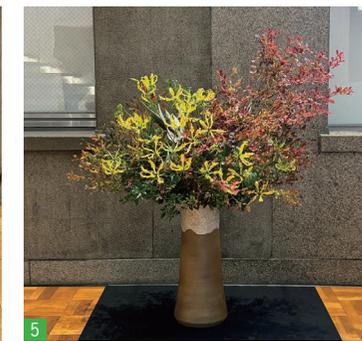
洋画家で、季刊「草月」で連載をされていたこともある野見山暁治さんのお別れ会にて、祭壇の装花を担当した。

Creative S いけばな展

2023年9月15日～17日  
東京(中央区)／銀座ギャラリーあづま  
ソニー華道部(指導:林萩赤)



華道部として初めて、銀座で社中展を開催。場所柄もあり、通りすがりの方、外国人の方の興味を引いた。



1 支部合作。2 岡慶民支部長の作品。3 平石丹珠萌さんの作品。4 花崎陽文さんの作品。5 森英琴さんの作品。6 会場風景。8 9 同時期に開催された京都丸紅株式会社の着物展示でも京都支部の作品が展示された。

京都支部展



＜京都支部のInstagram

MEGURU

11月2日・3日  
COCON KARASUMA

コットンフラワーの魅力

シアター、ギャラリー、レストラン、インテリアなど、個性的な店が集うCOCON KARASUMAにて京都支部展が行われた。複合商業施設内での開催は支部初。

見どころは、京都産のコットンフラワーで制作する支部合作。京都の生産者が育て、京都生花株式会社様よりご提供いただいた。デザインは支部会員より公募。選ばれたカタチに全員で創り上げた。コットンフラワーは夏に花が咲き、秋に実となり、熟した実がはじけ、中から白い美しい綿毛が顔を出す植物。さまざまな思いがつもがれた綿毛に他の花材を交わらせることで変貌させ、新たな魅力を引き出した。いつでも、どこでも、だれにでも、どのような素材を使ってもいけられる草月流の存在感を、合作、個人作ともに、いけばな発祥の地である京都で発揮した。

**参加者募集中** 第13回いけばな国際大会 2025

**第13回世界大会のテーマ「継ぎ、繋ぐ」“Succeed and Continue”**

来年4月に京都で開催される第13回いけばな国際大会にて、  
 茜家元がデモンストレーションを行います。流派を問わず世界中から一堂に集まる  
 いけばなフレンズとともに、茜家元の作品を楽しみましょう！



- [開催日] 2025年4月27日(日) 18:30 ~ 19:20 ※開場は18:10
- [会場] 国立京都国際会館 メインホール  
 (〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町422番地)
- [アクセス] 地下鉄烏丸線「国際会館駅」出入口4-2から徒歩5分
- [参加対象] どなたでも
- [参加券] 7,000円 ※草月流デモンストレーションと花展のチケットが含まれます。
- [花展チケットのみ] 1,000円
- ※上記のチケット料金とは別に、チケット送料や決済手数料等がかかります。
- [お申込み] 右のQRからお申し込みください。  
 草月会館3階会員サービス部および草月WEST窓口でも販売いたします。



[お問い合わせ] 海外課 TEL: 03-3408-1151 / E-mail: overseas@sogetsu.or.jp

**参加者募集中** Sogetsu Dinner Party with Iemoto

**世界中の草月会員が集まる懇親会を東京で開催**

2025年に京都で開催されるいけばな国際大会に、海外各地  
 より草月会員が集まります。世界中の草月メンバーが集う機会として懇親会を開催  
 します。ぜひ社中やお仲間をお誘いあわせの上、ご参加ください。  
 (英語と日本語両方で進行されます)



- [日時] 2025年5月1日(木)
- [時間] 18:30 ~ 20:30 (受付は18:00より) ※時間等、変更になる場合があります。
- [場所] ホテルニューオータニ (鳳凰の間)
- [参加費] 31,000円 (着席コースディナー、ドリンク)
- [定員] 約200名 (海外会員優先、先着順) ※定員になり次第締め切ります。
- [参加対象] 草月指導者連盟会員  
 ※テーブルの同席希望などは後日伺います。
- [お申込み] 右のQRからお申し込みください。



[お問い合わせ] 海外課 TEL: 03-3408-1151 / E-mail: overseas@sogetsu.or.jp

**園児たちがいけばなボランティア**

2023年6月16日  
 大阪(豊中市) / 学校法人育保学園 熊野田幼稚園  
 指導: 神武祥染 他1名



依頼を受け、園庭でいけばな指導。園児  
 が装飾したプリンカップに、あじさいを  
 自由にいけてもらい、教室に展示した。

**子ども向け文化プログラム体験**

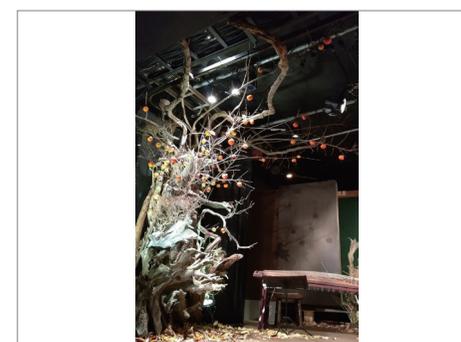
2023年7月9日・8月20日・9月24日  
 新潟 / 旧齋藤家別邸  
 指導: 草月竹あかり花あかりコラボレーションチーム



新潟市の文化や歴史を楽しく学ぶ、茶  
 道・いけばな体験。同じ種類、同じ量の材  
 料でも、完成した作品には個性が出た。

**劇団大樹「ひめぐと」**

2022年12月14日~18日  
 東京(豊島区) / てあとらばう  
 横井紅炎



大きい柿と松を使用。「樹の下には『何  
 か』がまつている?」という台本から、  
 怪しい大樹を舞台美術として制作した。

**さどわら驛21会主催日豊線佐土原駅構内いけばな**

2023年2月16日~28日(左写真)、4月16日~30日(右写真)  
 宮崎 / JR日豊線佐土原駅構内  
 坂元清草



(左) 石化柳で動きを出し、プブレルム  
 とカラテアを軽やかに(右) 春めいて、  
 うきうき楽しい気持ちになれるように。

**駅を彩る**

2021年10月17日~31日  
 宮崎 / JR日豊線佐土原駅構内  
 樋口南草



自作花器にいけばな、駅を彩る。皆さん  
 フォックスフェイスに興味津々の様子  
 で「大胆で力ももらえ」と言われた。

**崇禅寺 花祭**

2022年4月8日  
 東京(羽村市) / 崇禅寺  
 上原瑞光



東慶寺を描いた屏風を背景に、崇禅寺  
 の境内に咲いていたしだれ桜を、行器  
 (ほかい)にかけた。

新潟で20年ぶり

第9回日本いけばな芸術信越展  
10月9日～14日  
新潟伊勢丹

「第9回日本いけばな芸術信越展」が開催。新潟県での開催は20年ぶりとなる。会場は創業40周年を迎えた新潟伊勢丹で、特設会場には諸流派約170点の作品が展示された。オープニングには日本いけばな芸術協会名誉総裁の常陸宮妃華子殿下によるテープカットが行われた。草月からも家元をはじめとした作家が多数出品。いけばな作品の展示に加え、新潟県の工芸界を担う若手作家とのコラボレーション作品、こどもいけばな体験教室なども行われた。



劇場の迎え花

新国立劇場ウエルカムフラワー  
10月2日～11月5日  
新国立劇場

新国立劇場2024/2025シーズン開幕にあわせ、家元によるウエルカムフラワーが6年ぶりにメインエントランスに展示された。見る角度で表情を変える作品に、足を止めてじっくりと鑑賞する人が多くみられた。



今なら、入会金・再入会金が不要の講座も。この機会に、ぜひご受講ください！

※日程、講師は変更になることがあります。また、新型コロナウイルス感染症の影響や、天災及びその他不可抗力による事由により、開講を延期または中止する可能性がございます。予めご了承ください。変更が生じた場合は随時告知いたしますので、草月流ホームページをご確認いただくか、教室運営課または草月WESTまでお問い合わせください。

2024年度サブテーマ：いけばなは立体造形である

2024年度は「草月ってなんだろう？」を深掘りするためにサブテーマ「いけばなは立体造形である」を設け、家元研究科や公開講座など様々な授業で取り上げます。創流100周年に向けて、第三代家元・宏が提唱し続けたこのテーマと改めて向き合ってみましょう。



昨年度の家元研究科では、2023年度のサブテーマ「線色塊」を、様々な授業で取り上げました。写真は昨年7月の苗家元による家元研究科（テーマ「線と塊」）でのデモ作品。

複数受講割引あり!

家元研究科

毎回テーマが設けられ、いけばなをさらに深く追究することを目指します。感性と技術を磨く最高の勉強の場です。草指連会員の方なら、どなたでもご受講いただけます。複数受講割引もあり、より深く学ぶことができます。AT賞選考対象クラス。

入会金・再入会金が不要

	金	土	月	テーマ	講師
	14時/18時	10時30分/14時	10時30分/14時		
2025年1月	24日	18日	27日	いけばな造形・変化るとはPart2	小沢清香
2月	14日	15日	17日	植物に語らせるもの	日向洋一

●申込方法：新入会をご希望の方は、TEL・FAX・E-mailで事前にご連絡ください。毎月の受講は、日程・時間をご確認の上、ご来館ください。●受講料/家元：15,000円（花材費2把分込み。同月2回目以降は12,000円）/本部講師：13,000円（花材費2把分込み。同月2回目以降は10,000円）

家元教室

資格を問わず、どなたでもご参加いただけるいけばな教室です。ワンレッスン受講することもできます。

再入会金が不要

2025年1月	火曜	7日	中村草山	14日	加藤久美子	21日	坂口水恵
	木曜	9日	五十野雅峰	16日	片山健	23日	岡崎忍
2月	火曜	4日	中村草山	18日	五十野雅峰	25日	岡崎忍
	木曜	6日	隅出美泉	13日	篠崎洵雅	20日	片山健

●原則として6日間、第1・2・3火曜と木曜 ●10時30分/14時/18時（各日3回開講） ●入会金：11,000円 ●月謝（月3回分）：13,000円（花材費別2,000円/都度払い） ※証書申請可能。 ※再入会金無料。再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可（5,000円・花材費別2,000円/都度払い）。

会員証がデジタルになります。

現在、国内の草月指導者連盟会員の皆さまに発行しております紙製の会員証は、2025年度より草月メンバーズサイトのデジタル会員証になります。この機会にぜひメンバーズサイトにアクセスを。

仮パスワードを再設定する際、メールアドレスの登録が必要となります。メールアドレスをご登録いただいていない方は、会員サービス部までお知らせください。

※ドメイン設定（受信拒否設定）をされている方は「sogetsu.or.jp」からのメールを受信できるようにドメイン設定を解除していただくか、または「sogetsu.or.jp」を受信リストに加えていただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ】会員サービス部  
TEL：03-3408-1120  
FAX：03-3405-4947  
E-mail：members@sogetsu.or.jp

草月文化活動支援基金へのご協力ありがとうございます  
2024年9月～10月に当基金に寄せられた寄付金は、左記の通りです。（掲載は二万円以上、敬称略）  
旅と花の力、茨城県支部、千葉県支部、岩手県支部、堆積智子、小幡秋紅、種子田夏紅、山本智揚、株式会社三共システム代表取締役 深井修、高知県支部、広島県支部、熊本春民

訃報

能登半島地震義援金のご報告  
能登半島地震義援金にたいへん多くのご協力をいただき、ありがとうございます。8月31日に締切りました義援金の総額は、467万8千4百9円（228件）となりました。まずはご報告させていただきます。追って詳細をお知らせいたします。

田崎享子（紫秀） 埼玉県/理事  
二〇二四年五月十八日 享年八十九歳  
大明けい（けい） 東京都/理事  
二〇二四年九月十四日 享年九十五歳  
工藤カツヨ（奇染） 福岡県/理事  
二〇二四年十月十日 享年九十七歳  
一宮百合子（葛樹） 石川県/顧問  
二〇二四年十月三十日 享年七十五歳

## 2025年度「Teaching Ikebana in English」基礎科

受講生大募集!!

受講日	講師	内容
4月から全8回 原則として月曜日 2025年 4/14、5/19、6/23、 7/14、9/1、10/6、11/10、 2026年 2/2	 高木水染  福島光加	外国人への指導や海外でのワークショップ、デモンストレーションの経験豊かな高木水染、福島光加両師範による、英語での指導法を学ぶクラスです。 テキスト1・2から花型を学び、英語版草月五十則をひもときます。シンプルでわかりやすい英語で、海外での実践的な指導方法を楽しんで学びましょう。これからの草月のいけばなを支え、国際的なステージで活躍してゆく人材を育成いたします。 基礎科 Part1 (1年間)・Part2 (1年間) の二期制となります。

●授業時間：13時30分～16時30分 ●申込資格：草指連会員で、日常英会話程度の英語力を有する方 ●定員：30名  
※申込方法、受講料などは、『草』2月号に掲載します。  
※以前に基礎科 Part II を終了されている方は、研究科をご受講になれます。ご希望の方はご連絡ください。

## 「今だから、造形花」第9期基礎科

9期生を募集します。  
2年に一度のチャンス。お見逃しなく!!

受講日	講師	内容
5月から全6回 原則として水曜日 2025年 5/21、7/23、9/17、 11/12、 2026年 1/21、3/11	 川名哲紀	3代家元勅使河原宏は、「いけばなは、植物を使った表現です。植物を立体的に構成しそれによってその空間を変貌させるものです。これこそが、いけばなの本質である」と訴えました。 「今だから造形花」では、伝統や常識にとらわれず植物という天与の素材を、それぞれの創造力で生き生きと変化させ、さまざまな「場」に「造形花」を展開しながら、自らを表現できるクリエイターを育成する講座です。 基礎科6回/1年を受講された方は、研究科6回/1年を受講することが出来ます。

●授業時間：11時～16時30分 ●申込資格：草指連会員 ●定員：30名程度  
※申込方法、受講料などは、『草』2月号に掲載します。

## 第12回 AT 賞展

2002年に茜家元の家元継承を記念し、家元のイニシャルより命名し創設された「AT賞」。家元研究科の在籍者の中から、最終選考を経て受賞者が研鑽の成果を発表します。

【日時】2025年3月27日(木)・28日(金)  
10時～17時

【会場】草月会館1階プラザ ※入場料無料

【出品者】第21回・第22回 AT 賞受賞者

お問合わせ [ 教室運営課 ]

TEL: 03-3408-1209 / FAX: 03-3405-4947

E-mail: kyoshitsu@sogetsu.or.jp

第11回 AT 賞展の様子



## 男子専科

初心者からベテランまで、男性限定のいけばな教室。いけばな作家や男性指導者の育成をめざすクラス。随時受付。

再入会金が不要

2025年 1月	10日(金) 西山光沙	2025年 2月	7日(金) 澤田晃映
	17日(金) 岩淵幸霞		21日(金) 岩淵幸霞
	22日(水) 岡崎忍		26日(水) 西山光沙

●開催日は水曜1回、金曜2回 ●18時(受付:17時30分～19時30分) ●入会金:11,000円 ●月謝(月3回分):13,000円(花材費別2,000円/都度払い) ※家元教室・家元研究科への振替ができます。※証書申請可能。※再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可(5,000円+花材費別2,000円/都度払い)。

## インターナショナルクラス

外国の方々を対象としたクラスです。授業は英語で行われます。

2025年 1月	6日 高木水染	2025年 2月	3日 石川己青
	20日 石川己青		10日 坂口水恵
	27日 坂口水恵		17日 坂口水恵

●毎週月曜日 ●10時30分～12時30分 ●受講料:7,000円/1回(花材費込み。月4回目以降は6,000円)  
※証書申請可能。※祝日は休講となります。

## 公開講座

普段のお稽古ではなかなかチャレンジできない内容で創造性を大きく伸ばすチャンス! 経験豊富な講師の講義で、知識と技の引き出しがさらに広がります。

受講日	テーマ	講師	内容
2025年 1月18日 (土)	【特殊花材】 特殊花材「おもと」を学ぼう! —美しい「型」と 「自由な表現」と—	 石倉松清	いけばなの歴史の中で、特殊な格調高い「型」をいまに伝えている花材があり、「おもと」もその一つです。草月では特に決まっていけ方のない「おもと」ですが、美しいとされている「型」を伝える知識や技術をしっかり学び、その上でさらに草月らしい自由な表現をたのしみましょう。 ※特殊花材につき、追加花材費4,000円となります。
2025年 2月15日 (土)	【宏】 「いけばなの本質」 Part II	 川名哲紀	講義は造形花(いけばな)の方程式 “有機-無機-有機”の転換が、いけばな造形にいかにより必要か!! 実技は、もう一つのいけばなの本質“場にいける”にチャレンジしていただきます。

●授業時間:10時30分～16時 ●受講料(材料費・昼食代込み):1月18日/19,000円(特殊花材のため、追加花材費4,000円を含みます)、2月15日/15,000円。入会金なし ●申込資格:草指連会員 ●定員:40名 ●募集:随時受付中。郵便振替または会員サービス窓口でお申込みください。[郵便振替口座] 口座番号:00180-6-119808 / 加入者名:(一財)草月会 教室運営課 ※払込取扱票の通信欄に①受講希望日②草指連会員番号③名前④(お持ちの方は)メールアドレスをご記入ください。 ●申込締切:開催日の1週間前(ただし定員になり次第締め切ります) ※お申込み後のキャンセル・ご返金はいたしかねます。 ※お申込み後でも、翌月以降(年度内)に振替受講が可能です。ご希望の方は、受講日の10日前までにご連絡ください。それ以降のご連絡の場合、実費(材料費および昼食代)をいただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

—草月WEST家元教室いけばな展— 開催決定!!!

ゴールデンウィークの恒例となっている「草月 WEST 家元教室いけばな展」を来年も開催いたします!

草月 WEST 家元教室に通う生徒の皆さんが、日ごろの成果を発表するいけばな展です。関西の本部教室ならではの作品群に刺激をもらえること間違いなし!

いけばな展を鑑賞した後は京都旅行を楽しむ方も……。お誘い合わせのご来場をお待ちしています!

開催予定日: 2025年4月28日(月)・29日(火・祝)

※出品者の募集は2月上旬を予定。  
詳しい内容は草月 WEST までお問い合わせください。



前回の草月 WEST 家元教室いけばな展。

サブスクリプション(定額見放題)の動画配信サービス

anytime SOGETSU エニタイム・草月



＜英語ページがスタートしました＞

まずはここから!

**無料動画コンテンツのご案内**

anytimeSOGETSUには、「いまさら聞けないいけばなの基礎知識」や「草月 WEST家元教室いけばな展」など、お気軽に楽しめる無料コンテンツが20本ほどございます。サブスクリプションの利用前に是非お楽しみください!  
※ご視聴いただくには会員登録(無料)が必要となります。

2023 草月 WEST いけばな展  
一春夏のはな part2

中村草山師範による水引解説

無料

---

200本以上の動画を見放題

anytime SOGETSU は勅使河原茜家元と草月流本部講師による、いけばなデモンストレーションの動画が月額定額で見放題となるサービスです。草月のエッセンスが詰まったテキストに掲載されている各テーマより、実際に草月 WEST 家元教室などで披露されたものを、何度でも必要な時にご覧いただくことができます。毎月新しい動画が追加されます。

月額\*

**2,640円(税込)**

※開始日より起算

---

動画の個別販売

サブスクリプション(定額見放題)は「ちょっと負担」という方は、目的の動画を1本から購入できます(30日間見放題)。

1本

**660円(税込)~**

anytime SOGETSU には、草月流ホームページの「草月を習う」メニュー、または上の QR より、どなたでもお入りいただけます。  
<https://www.sogetsu.or.jp>

家元研究科

受講者自らの植物表現を追求し、感性と技術に磨きをかけるクラスです。  
新入会・再入会大歓迎。AT 賞選考対象クラス。

入会金・再入会金が不要

	金曜	土曜	テーマ	講師
	14時30分	10時30分 / 14時30分		
2025年1月	23日(木)	24日(金)	「春風や……」俳句にいける	福島光加
2月	14日	15日	スリリングに花と遊ぶ	家元
3月	14日	15日	「遊べ、もっと!」をもっと!	片山健

●申込方法: はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ●受講料(家元): 15,000円(花材費込み。同月2回目以降は12,000円) / (本部講師): 12,000円(花材費込み。同月2回目以降は9,000円)

家元教室

毎回テキストのテーマからの2作、講師のデモンストレーションがあります。  
たっぷり勉強できる充実の2時間。

再入会金が不要

12月	金曜	6日	澤田晃映	13日	加藤久美子	27日	中田和子
	土曜	7日	〃	14日	〃	28日	〃
2025年1月	金曜	10日	石川己青	17日	岡本青珠	31日	五十野雅峰
	土曜	11日	〃	18日	〃	2月1日	〃

●月3回 金曜・土曜 ●金曜(14時30分/18時30分)、土曜(10時30分/14時30分) ●入会金: 11,000円 ●月謝: 12,000円(月3回分。花材費別: 1把900円) ●申込方法: はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日時・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ※証書申請可能。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可能(5,000円。花材費別/都度払い)。 ※見学可能。

土曜日14時30分からの家元教室は、オンラインでも受講できます!

公開講座

ご希望のクラスを1回ごとにお申込みいただける魅力ある講座です。  
講師の個性がいかされたテーマにチャレンジできます。ぜひご受講ください。

受講日	テーマ	講師	内容
12月11日(水)	アルミシート+和紙(金・赤)、さらに松で個性的な祝い花を楽しみましょう	 武藤星芳	細工しやすい「アルミシート」を使うことで「和紙」の表現が広がります。立体化や直線・曲線の帯など、多様な表現ができるようになります。お正月の新しい演出に挑戦しましょう。
2025年2月19日(水)	メタリック書道液と和紙のふしぎからの立体造形へ	 片山紅早	自分好みの色でメタリック書道液を作り、和紙との不思議なかかわりを体験します。さらに「いけばなは立体造形である」に展開して、植物との融合を楽しみましょう。

●授業時間: 13時~16時 ●受講料: 5,500円(教材費別) ●定員: 20名 ●申込方法: はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月 WEST までお送りください。  
●申込締切: 開催日の前々週の週末(ただし定員になり次第締め切ります)。

## 草月 × 日本茜プロジェクト

No.5

### 畑周りの植物

畑の周りには日本茜以外にも

**猛暑**  
全国的な猛暑の夏。7月～9月にかけても京都・美山町にある日本茜の畑へお手入れのために通い続けました。早朝京都市内で集合し美山町へ移動、暑さ対策のため午前中に作業が終わることを目指します。日本茜は苗から成長し緑豊かにポリウムアップ。地面に這うように成長しているの、蔓を優しく持ち上げてネットに絡ませます。茎には細かな棘がありチクチクします。草取りや水やりを行い、残念ながら育たなかった場所には新しい苗を追加しました。豊かな緑の下にはきつと豊かな根が育っていることでしょうか。根から茜の染料をとるのが楽しみです。

創流100周年に向けて植物の成長と環境をテーマにしている「草月×日本茜プロジェクト」のレポートをお届けします。

### 東京・赤坂にも日本茜が！

草月会館がある赤坂の地は、実は日本茜と深いつながりがあることがわかりました。赤坂地域の氏神にあたる赤坂氷川神社で日本茜を育てているとの情報があり現地でお話を伺いました。昔、赤坂付近では茜草（日本茜）が群生しており茜坂と呼ばれる坂（現紀伊国坂）があり赤坂という地名になったという説があるとのこと（諸説あり）。家

(下) 成長した日本茜の蔓をネットに絡ませる作業。  
(右) 畑の周りに実ったなんてん。  
(右下) 東京・赤坂氷川神社で成功祈願を。



元の名前、草月会館の場所、京都美山町の三つが茜でつながる不思議なご縁を感じつつ赤坂氷川神社でプロジェクト成功を祈願いたしました。

## 新講座 The「草月人」 —私の個性をつくりだす—

「草月人」は「他の人と違うことをしたい」、「人と同じじゃつまらない」、そんなふうを考える人が大半ではないかと思います。では、どうすれば自分の個性を発揮することができるでしょうか？「してはいけない事はない」を軸に、「私の花」を再認識して個性を見出しましょう。

受講日(全3回)	講師	内容
第1回 2025年1月21日(火)	 森彩琳	【きれい < おもしろい】 いけばなをきれいにいけることは、いわば当たり前のことです。きれいな中にも「おもしろい」や「かっこいい」を意識しましょう。
第2回 2月4日(火)		【自然 < 技巧】 花伝書の一説に「自然をいかに変えたかということが、いけばなの大事な要素である。変化されていると同時に、加えられている。」とあります。ここでは「技巧」を加えて変化させます。
第3回 3月11日(火)		【量感 < 力感】 「力感」はむしろ分量的に少ないほど、よく出る。美は量でなく、力である。」と花伝書に記されています。今回は、作品を象徴するポイントを強調して表現してみましょう。

●授業時間：13時～16時 ●受講料：37,000円（材料費込み） ●受講資格：草指連会員 ●定員：21名 ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、①名前②草指連会員番号③住所④電話番号⑤（お持ちの方は）メールアドレスをご記入の上、「The 草月人」受講希望の旨を、草月WESTまでお知らせください。 ●申込締切：2025年1月7日（火）（ただし定員になり次第締め切ります）

## 草月×日本茜プロジェクト発足1周年記念

### もっと知りたい！ もっと身近に！ 日本茜をたのしむワークショップ

一般社団法人日本茜伝承プロジェクト 代表理事であり、「美し山の草木舎」主宰の渡部康子さんを講師に迎えて開催します。

2027年、草月は創流100周年を迎えます。

植物の成長と環境をそのテーマにしたいという勅使河原茜家元のおもいとさまざまな出会いが重なり、「草月×日本茜プロジェクト」がスタートしたのは今年1月。「種まき」から始まった取り組みの様子は、本誌で連載中です（左ページをあわせてご覧ください）。

プロジェクト発足1周年を記念し、草月WESTでは、このプロジェクトを協働している「日本茜伝承プロジェクト」代表理事の渡部康子さんを講師に迎えて、「もっと知りたい！ もっと身近に！日本茜をたのしむワークショップ」を開催いたします。古代から近世まで高貴な色として親しまれてきた日本の「日の丸の色」日本茜。渡部さんのお話でその歴史を紐とぎながら、一年のプロジェクトもふりかえりつつ、茜色の小さなブローチとバッジ（計2点）を制作します。創流100周年、その先へとつないでいく、日本茜のワークショップです。



ブローチ(左)とバッジ(右)の土台見本。

受講日	内容
【第1回】2025年2月2日(日)	茜色の小さなブローチとバッジ

●授業時間：13時30分～15時30分 ●受講料：5,000円（一般5,500円、税・材料費込） ●申込資格：草月流を学んでいる方 ※ご友人（一般）も一緒に受講できます。 ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、名前・草指連会員番号・住所・電話番号・（お持ちの方は）メールアドレスをご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ●申込締切：2025年1月21日（火）（ただし定員になり次第締め切ります）  
※企画協力：一般社団法人ジャパン・フラワー&コミュニケーションズ

本部主催支部研究会・講習会

石川県支部	12月8日(日)	研究会 金沢市ものづくり会館	岡部弘邦	☎ 0767-28-2844
宮城県支部	12月15日(日)	講習会 東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)	佐藤霞岳	☎ 022-304-5620
徳島県支部	2025年2月2日(日)	研究会 ふれあい健康館	林春麗	☎ 088-678-2778
大分県支部	2月16日(日)	研究会 J:COM ホルトホール大分	守田芳伸	☎ 0977-66-1311
東京西支部	2月23日(日・祝)	研究会 草月会館5階教室	樋口翠翔	☎ 042-576-6350
石川県支部	4月13日(日)	講習会 石川県女性センター	岡部弘邦	☎ 0767-28-2844
山形県支部	5月18日(日)	研究会 山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング	土田紫蘭	☎ 0234-24-9148
静岡県支部	5月18日(日)	講習会 三嶋大社 社務所(家元指導)	松尾遊波	☎ 055-987-0235

フラワーク

とらや赤坂本店	3階茶寮	1月	クリヴィリ・丈古	赤坂見附	
		2月	村田草紅		
		3月	相澤喜雲		
ザ・キャピトルホテル東急	3階ロビー・1階エントランス	常設	座・草月	溜池山王・国会議事堂前	
ホテルニューオータニ東京	ロビー階	12月30日～1月14日	川名哲紀	赤坂見附・永田町・麴町	
	宴会場階	12月31日～1月13日	竹中麗湖		
	料亭千羽鶴	12月31日～1月上旬	澤田晃映		
ホテルニューオータニ幕張	お正月／1階エントランス	12月30日～1月13日	千葉県支部	海浜幕張	
ホテルニューオータニ大阪	1階ロビー・2F宴会場	12月30日～1月27日	大阪支部	大阪城公園・大阪ビジネスパーク	
ホテルOMO3 東京赤坂	フロント	クリスマス・お正月／エントランス	12月3日～1月15日	村越大嶺	赤坂見附・赤坂
		2月	村越大嶺		
		3月	尾崎霞洋		
横浜ベイホテル東急	お正月／1階噴水 B1階神殿口・神殿前	12月28日～1月15日	高嶺一染	みなとみらい・桜木町	
		常設	御手洗直己		
横浜東急REIホテル	お正月／1階エントランス	11月16日～1月7日	飯岡湖武孜	新高島・高島町・みなとみらい	
		12月28日～1月7日			
ラフォーレ原宿 GR8	2.5階	常設 店内装飾	深澤隆行	明治神宮前・原宿	
ホテルエミオン京都	クリスマス・お正月／1階ロビー	11月30日～1月上旬	高嶺一染	梅小路京都西	
	お正月／1階エントランス2ヶ所	12月30日～1月上旬			
	3階ロビー	常設	京都支部		
	笹屋伊織 別邸	常設	草月WEST		
玉川高島屋S.C	本館1階・南館1階	12月31日～1月14日	東京南支部	二子玉川	
幕張メッセ「COUNTDOWN JAPAN 24-25」	入場ゲート正面	12月28日～元旦	飯岡湖武孜	海浜幕張	
日産グローバル本社ギャラリー	エントランス	1月2日～5日	日向洋一	横浜・新高島	
	インフォメーションカウンター		中島杏翠		
NISSAN CROSSING	お正月／1階シンダー内・インフォメーションカウンター	12月29日～1月7日	座・草月	銀座	
草月会館日本間 開場時間:初日は午後から、最終日は午前中まで	～12月6日	山田幸泉	青山一丁目		
	12月9日～20日	岡本青珠			
	2025年1月6日～17日	加藤久美子			
	1月20日～31日	岩本知星			
	2月3日～15日	福島光加			

年間行事予定

12月28日(土)～2025年1月5日(日)	草月会館 冬期休館日
2025年1月12日(日)	「茜家元と迎える新年の会 2025」と昇格お披露目(草月会館)
1月22日(水)	財団理事会
1月25日(土)	新春懇親会パーティー (ホテルニューオータニ大阪)
2月27日(木)・28日(金)	草月職員・社員による、いけばな展(草月会館1階プラザ・草月陶房)
2月28日(金)・3月1日(土)	草月職員・社員による、いけばな展(草月WEST)
3月12日(水)～17日(月)	第63回いけばな協会展(新宿高島屋)
3月20日(木・祝)	レッツ・トライ! デモンストレーション in 関西2期生 卒業発表会(草月WEST)
3月27日(木)・28日(金)	第12回AT賞展(草月会館1階プラザ/10時～17時)
3月28日(金)	財団理事会(草月会館)
3月28日(金)	花に感謝の日(草月会館)
4月25日(金)～28日(月)	第13回いけばなインターナショナル世界大会2025 ※草月流デモンストレーションは4月27日、展覧会は4月26日・27日
4月28日(月)・29日(火・祝)	草月WEST家元教室いけばな展(草月WEST)

【草月会館土・日・祝日特別開館日】草月会館の特別開館日は、以下の通りです。その他の土・日・祝日は、草月会館は休館しております。12月14日(土)、2025年1月18日(土)、2月15日(土)、3月22日(土) ※草月WESTは月曜定休。臨時休業もありますので、お問合わせください。

各地の展覧会

森林公園Harmony with Nature 2024 「トゥーランドットXVII」空間インスタレーション	～2025年1月12日(日) 国営武蔵丘陵森林公園	金田紫星	☎ 090-8016-6598
Reunion ~Let's FLY~ (レッツ・トライ・デモンストレーション10期)	2025年2月14日(金)・15日(土) 草月会館談話室	市川愛霞	loveichikawa@gmail.com
黄 志庭個展	2025年2月14日(金)～16日(日) 芸術新聞・罐空間(台湾・台北市)	岩田ひろ志	☎ 03-5925-8786
SYC東京1企画展「よりみち」	2025年2月22日(土)～23日(日・祝) BONUS TRACK(東京都世田谷区) ※施設内のGALLERYおよびHOUSEにて開催	橋本佳蘭	karan@ymail.ne.jp
第35回ぐるーぷ紅の会 いけばな展	2025年2月23日(日・祝)・24日(月・休) やねのにつぼうホール豊川(プリオ5階)	西尾有浩	☎ 0533-84-2106
いけばな草月流xNo.11ヌメロオンセ レッツ・トライ! デモンストレーション in 関西1期生【KARAKU】 いけばなLIVE vol.2	2025年2月24日(月・休) カフェバーNo.11ヌメロオンセ(和歌山市) ※要入場料	仁儀董宵	☎ 090-7117-8945
からんとそーじゅーのふたり展ぱーと3 びゅんびゅんふわふわ	2025年4月11日(金)～15日(火) TERRITORY GALLERY(東京都渋谷区)	橋本佳蘭	karan@ymail.ne.jp

カレンダーに掲載されているイベントは内容が変更になる場合がございます。本部にお届け済みのイベントが中止または延期となった場合は、出版部 編集制作室までご報告くださいますようお願い申し上げます。

【ご注意ください】「各地の展覧会」掲載ご希望の方へ

- ・出版部 編集制作室まで、E-mail、FAX、郵送にて必要事項(下記)をお知らせください。
- イベント名 ●開催日時 ●会場 ●開催趣旨(個展、社中展等) ●問合わせ先のお名前、電話番号またはメールアドレス
- ・不達による掲載漏れを防ぐため、FAX、郵送の場合は、送付後必ず確認のお電話をいただきますようお願いいたします。
- E-mailの場合は、こちらより受領確認のメールを差し上げております(確認メールが届かない場合はお問合わせください)。
- [ 出版部 編集制作室 ] TEL:03-3408-1158 / FAX:03-3405-4947 / E-mail:info@sogetsu.or.jp / 〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21